



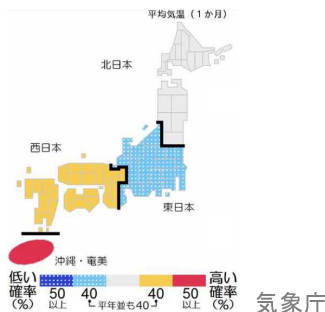
アース・エコ

子どもたちと地球の未来のために

アース・エコ
メールマガジン No.7-8
2016年7月22日(大暑)
特定非営利活動法人
アース・エコ事務局 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

昨年まで続いたエルニーニョが終わり、今年の夏はラニーニャが始まり猛暑になるとの予想でしたが、今のところラニーニャの気配はなく、一転して涼しい夏の予想になりました。一か月予報では東日本はこの先の気温は平年並みか低いとの予報で、梅雨明けにはもう少し時間がかかりそうです。

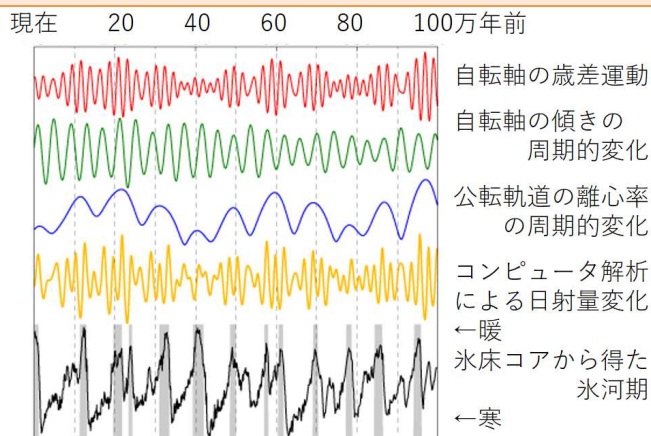


地球の温暖化と寒冷化

地球は約10万年周期で氷期と間氷期を繰り返しています。現在は暖かい間氷期ですが、約1万年続いた間氷期が終わり、今後は氷期に向かって寒冷化が進むという見方が一般的です。ただし人為的な温暖化は100年で1℃程度の変化ですが、寒冷化は1万年で数℃の変化なので人間の感覚では分かりません。この約10万年周期の気候変化の原因は完全には解明されていませんが、有力な説に「ミランコビッチサイクル」があります。

地球の自転軸の歳差運動、自転軸の傾きの周期的変化、公転軌道の離心率の周期的変化の影響で地球が太陽から受け取るエネルギーがわずかに変化し、地球が寒冷化したり温暖化したりするという考え方です。

この説は検証が難しかったため、仮説とされてきましたが、最近、コンピュータによる解析と、南極の氷床コアの分析とで、過去40万年の気候変化で同じような10万年周期の傾向が見られることが分かり、仮説ではなく、「ミランコビッチサイクル」と呼ばれるようになりました。



出典: ウィキペディア

地球は寒冷化に向かうのだから温暖化対策は必要ないという意見もありますが、この2つは進行速度が2桁ほど違うので別の物として分けて考えるべきです。

しかし、人類は現在直面している地球温暖化を克服したとしても、その先には更に困難な寒冷化の問題に立ち向かわなければならないことになります。 [桑原]

大川小学校の悲劇

東北大地震災害の爪痕は、「こんなところまで津波が押し寄せたのか」という驚きであった。あれから5年、町があったというところは、かさ上げの工事で山が削られ、ダンプカーが行きかっていた。

さて石巻市立大川小学校があった地域は、住宅地はなくなり学校の廃墟にモニュメントが残るだけであった。山根という地域名のところだけ、学校と住宅地は、北上川の河川敷の平地であった。北上川をさかのぼってきた津波が堤防を越えて押し寄せたのだ。確かに裏手に山があったが、時の判断をいまさらとやかく言っても無意味であろう。復旧・復興の動きは見えない。住民の多くの方もなくなったという。生存できた方々はどこへ移動したのだろうか？



大川小学校遺構

災害地では大堤防や土地のかさ上げなどが提唱され大工事が行われていたが、大川小学校のあったところは、地域も学校も人はいなくなっていた。

大堤防や、土地のかさ上げの工事を世界や歴史から見ると、オランダの国土の保全のための大堤防やイタリアのベネチアの遠浅の海へのレバノン松の杭打ちによる街づくりを知ることができる。しかし、その後のメンテナンスの努力は並大抵のことではないと聞く。

果たして、地球規模の大災害に、人間はどのように対応してきたのだろうか。古代からの人類の移動・拡張の

歴史から見ると、食料を得るために、気候や交通なども考慮して住みやすいところを見つけての定住であったのではないだろうか。

今、大災害に見舞われ、生活基盤を失った地に大堤防や地面のかさ上げなどの大工事が始まっていたが、地球規模の大災害には果たして通用するか疑問になった。

復興・復旧のあり方について、現地の方々の賛否両論の声に接し、地球規模の大災害の大きさを改めて思うことだった。 [西]

7月例会・合同勉強会を開催しました

7月13日(水) かながわ県民センター会議室で7月の理事会・例会・合同勉強会を開催し、会員など16名が出席しました。

7月理事会

エコプロ2016への出展について協議した結果、例年通りNPO/NGOコーナーに出展することが承認されました。

7月例会

今年度の活動計画のうち、日程が確定した15件の活動について参加者の調整等を行いました。6月15日(水)、16日(木)に実施した研修旅行を振り返り、被災地の復興状況などについて話し合いました。6月18日(土)に開催された埼玉県越谷市立大袋東小学校「エコフェスティバル」に参加した結果について報告しました。さらに、7月3日(日)に開催された「さがみはら環境まつり」について参加した結果について報告しました。

合同勉強会（環境学習リーダー会エネルギー部会と合同開催）

● 水素社会

6月29日(水)にJパワー主催で開催されたセミナー「水素社会」に参加した会員から概要の報告がありました。「水素は爆発するから怖い」という印象を持つ人が多いがはたして正しい認識か、水素利用の一例としてエネファームの紹介、燃料電池自動車の将来見通しの解説などがありました。

● 電力自由化

電力自由化について調査・検討している会員から報告がありました。電力自由化に関して誤解も多く、電力会社を替えて本当に電気代が下がるか、再生可能な電力を購入したい場合はどの会社を選ぶか、などの説明がありました。電力自由化は始まったばかりで実績が明らかになっていません。もうしばらく様子を見た上で電力会社を選んだほうが良さそうです。

● LED照明と蛍光灯の消費電力比較

LED照明と蛍光灯の消費電力を比較する実験装置を作った結果を報告しました。8畳用シーリングライトの消費電力は最大で、LED照明は約35W、蛍光灯は約80Wでした。毎日5時間点灯したとすると年間で2,000円ほどの電気代の節約になります。またLED照明は明るさを自由に調節できるので、好みの明るさに調節すれば更に省エネが可能です。



「水素社会」について解説する会員



LED照明(左)と蛍光灯(右)の消費電力比較の実験装置

横浜地方気象台創立120年記念講演会

横浜地方気象台が今年で創立 120 年を迎えるにあたり記念講演会を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。(入場無料、事前申込不要)

日時:平成 28 年 8 月 1 日(月) 13:00~16:30 (開場 12:30)

場所:横浜市開港記念会館講堂

特別講演:地球温暖化に伴う激甚化する災害へどのように向き合うのか

講師:江守 正多 氏 (国立環境研究所気候変動リスク評価研究室長)

申込み先:横浜地方気象台

詳しくは <http://www.jma-net.go.jp/yokohama/120mousikomi.pdf>



皆様からのご寄附をお願いいたします

アース・エコの活動も年々活発になり、内容も益々充実して参りましたが、これもひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

これまでも皆様からはご寄附をいただいて参りましたが、なお一層のご支援をお願い致したく、**1 口 1,000 円、1 口以上**のご寄附をお願い致します。寄附金は右口座にお振込みいただくか、月例会参加などの際に直接会計にお渡しください。

特定非営利活動法人アース・エコ 代表理事 桑原 清

振込先

三菱東京 UFJ 銀行横浜西口支店

普通預金口座 6664039

口座名義 特定非営利活動法人

アース・エコ 代表理事 桑原 清

これからの活動予定

- ◇ 7月27日(水) 夏休み環境学校、相模原市立橋本公民館
- ◇ 8月6日(土) エコ講座、夏の省エネ、相模原市立城山公民館
- ◇ 8月9日(火) 夏休み子ども講座、横浜市白山地区センター
- ◇ 8月21日(日) 緑区親子エコ講座、長津田地区センター
- ◇ 9月22日(木祭) 横浜カーフリーデー、日本大通り
- ◇ 9月26日(月) 横浜市学校出前講座 1 日目、横浜市緑区内の小学校

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

8月の例会・勉強会

8月10日(水) 13:30-16:30 かながわ県民センター705 会議室

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか?

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中!

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています。

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com